

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆賃上げ「企業任せにせず」、国の支援を明記 骨太の方針

・政府は7月にもまとめる経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)に「賃上げの責任を企業に丸投げしない」と明記する方針。生産性向上などに取り組む企業の賃上げを国が支援する方向で検討。賃上げについて「企業の行動変容を促進する『供給力強化』そのものであり、経済成長の起点」と位置づける。

#### ◆大企業製造業の景況感、悪化か 日銀6月短観の民間予測

・日銀が7月1日に発表する6月の全国企業短期経済観測調査(短観)の民間エコノミスト予測がほぼ出そろった。大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)の予測中心値はプラス16と、前回の3月調査から1ポイントの悪化を見込む。中東情勢の緊迫に伴うエネルギー価格の上昇が企業心理の重荷となる。

#### ◆地域防災計画の「弱点」数値化 内閣府指針案、救助・救難の対策促す

・内閣府は大規模災害に備え、地方自治体に人命救助などで必要な人員や物資の準備を促す指針の素案をまとめた。救急車や病床が不足していないか分析して災害対応の「弱点」を数値化し、防災計画の見直しを進める。素案は内閣府が開いた有識者との会議で示した。有識者の意見を踏まえて改良し、7月にも全国の自治体に指針案として公表する。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆ナフサ代替調達3倍に、欧米からの輸入増 5月貿易統計

・財務省が発表した5月の貿易統計(確速値)によると、ナフサ(粗製ガソリン)の輸入量は前年同月比で13.8%減の152万キロリットルだった。米国と欧州を中心とする中東以外からの調達は139万キロリットルで3倍に急増。中東からの輸入量は13万キロリットルと89.9%減った。全てアラブ首長国連邦(UAE)からの輸入だった。

#### ◆脱ナフサでバイオ素材支援 経産省、補助拡大へ基金積み増し検討

・経済産業省は生物由来のバイオマス素材や燃料の生産を支援する基金への資金の積み増しを検討。中東混迷で供給が乱れたナフサ(粗製ガソリン)への依存を減らし、経済安全保障上のリスクを抑える。8月にもまとめる2027年度予算の概算要求で積み増しを求める。向こう3年以上にわたる支援を念頭に、数千億円規模を求める方向。

#### ◆ガソリン補助金に代替調達コスト反映 7月は1リットル4.9円支給

・経済産業省は石油元売りに支給するガソリン補助金の計算時に原油の代替調達にかかる費用を反映すると発表。7月2～29日は1リットルあたり4.9円を上乗せ。政府は原油の国際指標であるドバイ原油の価格を踏まえて、レギュラーガソリンの店頭価格が170円程度になるよう補助金。現在の支給額は6円。7月以降はここに上乗せ額が加わる。

### 《 注目商品 》

#### ■モリタHD、PFAS不使用の泡消火薬剤 駐車場用設備に対応

・消火器などを手掛けるモリタ宮田工業は有機フッ素化合物(PFAS)を含まない泡消火薬剤を7月に発売すると発表。ガソリンやオイルなど可燃性の液体による火災が多い駐車場用の消火設備に対応。商品名は「Flawless(フロレス)」。



#### ■ニトムズ「コロコロ」清掃用ワイパー家具下の隙間の掃除簡単に

・「すべる くつつく スキマワイパー」家具や家電の下など手の届きにくい隙間を掃除する清掃用ワイパーを7発売。粘着面と滑り加工を組み合わせた特殊シートで、ごみやほこりを取り除く。約1センチメートルの隙間にも滑り込ませることが可能。



#### ■住友電工、家庭用蓄電システム「POWER DEPO Rシリーズ」

・従来品のPOWER DEPO(R)HIに新たな特長を加えた家庭用蓄電システム「POWER DEPO(R)Rシリーズ」を開発。これまでは設置が難しかった狭小敷地にも設置可能で、生活スタイルに合わせて蓄電容量を選択することが可能。全てを集約したオールインワン設計。

